

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年3月11日

【2019年3月2日～2019年3月8日までの推移】

【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。世界経済の先行きや、年金改革進展への不透明感が高まったことなどによって、ブラジル・レアルは売られました。

ECB(欧州中央銀行)理事会において、ユーロ圏の景気・物価見通しが大幅に下方修正されたことなどから、世界経済の先行き不透明感が高まり、新興国通貨全般が売られました。

またブラジル国内においても、ボルソナロ政権が年金改革法案の承認を受けるために妥協姿勢をみせたものの、賛成票を固められていないことから、年金改革法案が骨抜きになるとの懸念が高まりました。さらに、ボルソナロ大統領が自身のツイッターにわいせつ動画を投稿したことも大きく波紋を呼び、ブラジル・レアル売りを加速させました。

経済指標に関しては、2月のサービス業PMI(購買担当者指数)などが発表されました。サービス業PMIは先に発表された製造業と同様に、前月から上昇し、ブラジルの景況感改善が持続していることが示されました。一方で、市場の経済見通しは年金改革の不透明感などから、足元で急速に引き下げられており、改革の進展度合いが实体经济に影響を与え始める可能性があり、注意が必要と考えます。

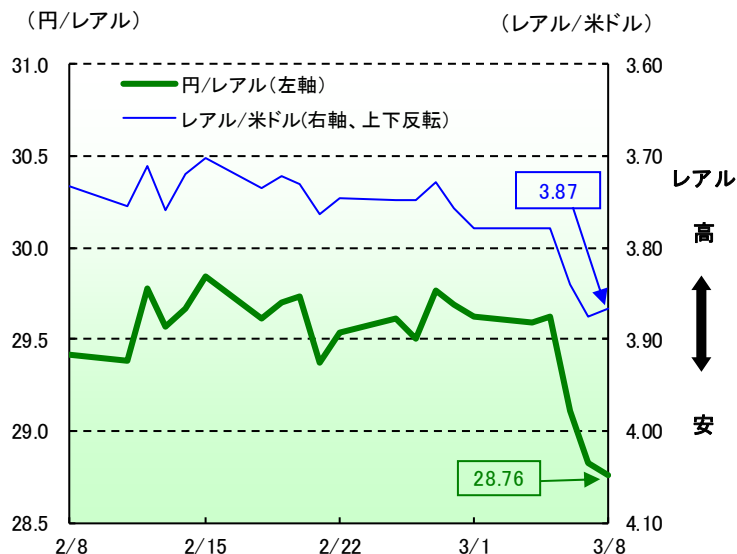
【2】今週の見通し

今週は、鉱工業生産や小売売上高などの経済指標の発表が予定されています。

カーニバル休暇明けのブラジル金融市場は荒れた展開となりましたが、引き続き、法案審議の進展や修正などに関するニュースに左右される展開が続くと考えます。

【ブラジル・レアル 為替推移】

(2019年2月8日～2019年3月8日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2019年2月8日～2019年3月8日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>